

シェイクスピアと音楽〈第9回〉 〈シェイクスピアの劇的新世界を聴く(シリーズII)〉 生演奏とシェイクスピア劇の劇的朗読をとおして

講座内容

シェイクスピア作品を、読む文学としてではなく、聴く戯曲として味わい、関連音楽も鑑賞する講座。シェイクスピア劇原語上演歴53年を有する講師によるドラマティックリーディング(劇的朗読)の実演をとおして、受講者は原語セリフの持つ音楽的美しさを実感し、シェイクスピアの劇的新世界を感動をもって体験できるでしょう。今回も音楽家2名をゲスト講師に迎え、生演奏による音楽も鑑賞する。加えて舞台上演実話を通して、読書によってだけでは感得困難な、演劇の魅力をも感じられるでしょう。春学期にはシェイクスピア作 *A Midsummer Night's Dream* / 『夏の夜の夢』(1595-6)を取り上げましたが、この秋学期はシェイクスピアが最後に単独執筆した *The Tempest* / 『テンペスト』(1611)を取り上げます。両作品は妖精が登場し、音楽性に富んだ戯曲としても共通点があります。両作品を比較して鑑賞することによって未知だったシェイクスピアの興味深い別の面を感得できるようになることでしょう。

期 間	10月25日	受講料	2,500円
曜 日	土曜日	定 員	50名 ※最少催行人数 15名
時 間	13:00~14:50	会 場	横浜・金沢八景キャンパス チャペル
回 数	1回	持ち物	筆記用具
教 材	講師の方で用意し、当日に会場で配布します。		
備 考	〔推薦参考図書〕松岡和子訳『テンペスト』、『夏の夜の夢』ちくま文庫。河合祥一郎編著『あらすじで読むシェイクスピア全作品』祥伝社。荒井良雄・瀬沼達也他編著『シェイクスピア名セリフ集』朝日出版社。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	10月25日(土) 13:00~13:30 (30分)	シェイクスピア作『テンペスト』にまつわる音楽の生演奏と解説による「シェイクスピアと音楽」の魅力の鑑賞 瀬沼達也講師により「シェイクスピア作品のセリフの音楽性」と題し、『テンペスト』の日英語セリフの劇的朗読を交えてシェイクスピア作品の魅力について解説する。
2	10月25日(土) 13:30~14:50 (80分)	シェイクスピア作『テンペスト』にまつわる音楽の生演奏と解説による「シェイクスピアと音楽」の魅力の鑑賞 早川幸子講師による解説とパイプオルガン他の演奏、村田望講師による解説と歌唱。

講師紹介



瀬沼 達也(せぬま たつや)

シェイクスピアを愛する愉快な仲間たちの会(SAYNK)代表、「at homeスクール」代表・講師
〔SAYNK企画〕10年でシェイクスピア全戯曲レクチャー&日英語朗読劇完遂企画)代表・講師・演出・俳優。本学キリスト教と文化研究所客員研究員。シェイクスピア劇演出家。シェイクスピア劇関連作品劇作家。R.H. プライス記念第5回山茶花クラブ賞受賞(2012年)。2019年度燦葉会基金(関東学院大学)教職員顕彰受賞(2020年)。2024年5月に演劇ユニットKing's Men旗揚げ東京公演「マクベス」にダンカン王役他で参加。2024年12月~翌年1月には同King's Men第3回公演「ロミオとジュリエット」にもシェイクスピア役他で参加。後者では東京公演と埼玉(彩の国埼玉芸術劇場小ホール)公演にも全参加。2025年6月に「at homesクール」を代表・講師として開校、現在に至る。



早川 幸子(はやかわ ゆきこ)

本学チャペルコンサートオルガニスト
東京藝術大学オルガン科卒。同大学大学院修士課程修了。ドイツ・ハノーファー国立演劇音楽大学オルガン科を卒業後、教会音楽科で学ぶ。関東学院大学およびフェリス女学院中高オルガニスト。ソロ、アンサンブル、後進の指導を中心に、笙やリードオルガン、アコーディオンにも活動の場を広げている。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会各会員。



村田 望(むらた のぞみ)

歌/Vocal
国立音楽大学声楽科卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部、京都フランス音楽アカデミー修了。第2回フランス音楽コンクール入賞。宗教曲のソリストからオペラ・ミュージカル出演まで幅広い舞台経験を持つ。また音楽活動と共にフリーアナウンサーとしてテレビ番組(NNS系列「心のともしび」)の聞き手を長年務め、現在鎌倉FM「クラシック音楽への誘い」のパーソナリティ、音楽会・イベントの司会、ナレーターとして語りの分野でも活躍。